

## ○世代をつなぐ農村まるごと保全向上対策 制度の拡充について

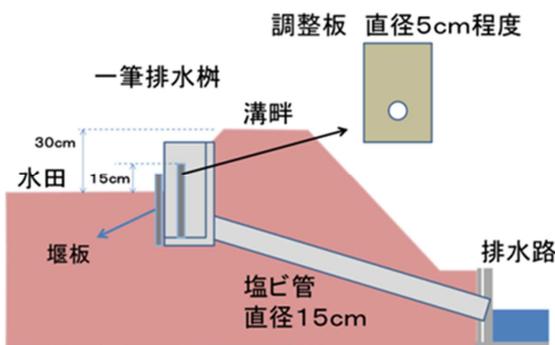
### 1. 資源向上支払（共同）において、防災減災型を追加

#### 1) 拡充内容

近年、想定を超える豪雨災害が頻発しており、県民の治水に関する関心と不安が高まっている。このため、降雨を水田で一時的に貯留し、河川への流出を抑制する水田の「ためる」機能を高める取組に対する支援を追加する。

#### ○ 防災減災型（田んぼダム）とは？

防災減災型（田んぼダム）とは、排水口を小さくして流出量を抑制することで、田んぼの多面的機能の一つである「水を貯める機能」を利用して、**大雨時などに一時的に雨水を水田に貯留し**下流地域を湛水被害から守る取り組みです。



提供：新潟県見附市

#### 2) 交付単価

	農地維持支払	資源向上支払 (共同活動)			資源向上支払 (施設の長寿命 命化)
		標準型	環境保全型	防災減災型	
田	2,200	1,300	1,800	1,800	4,400
畑	1,500	800	1,080	800	2,000
草地	180	120	180	120	400

#### 3) 取組内容

##### ① 計画策定

- ・「水田貯留機能増進計画書」を作成すること。

##### ② 啓発普及

- ・関係者間で取組ルールを決めるとともに啓発活動を行うこと。

##### ③ 実践活動

- ・水田の一筆落水口に排水調整板を設置し、大雨時の水田からの排水を低減すること。
- ・排水路溝畔断面を標準（天端幅 30～50cm、高さ 30cm）以上確保すること。
- ・対象水田面積の8割以上の面積で取り組むこと。

